

県内慰霊塔(碑)管理状況等実態調査

－結果報告－

<目次>

1. 調査内容		
(1) 調査の目的	2ページ
(2) 調査の実施状況	2ページ
2. 調査結果（概要）		
(1) 慰霊塔（碑）数	3ページ
(2) 管理者の区分	3ページ
(3) 慰霊塔の状態について	3ページ
(4) 慰霊塔の管理について	4ページ
(5) 今後の管理の意向	4ページ
3. 調査結果（詳細）		
(1) 管理者の区分について	6ページ
(2) 地方自治体等管理の慰霊塔について	6ページ
(3) 民間・その他管理の慰霊塔について	7ページ
(4) 管理者不明の慰霊塔について	12ページ
4. 慰霊塔（碑）調査一覧表		

1.調査内容

(1)調査の目的

慰霊塔(碑)は県内に 440 基が建立されているが、関係者の高齢化等に伴い、十分な管理がなされていない等の課題が顕在化しているとともに、建立者等が不明などにより、管理状況不良の慰霊塔・碑が放置されることで、戦没者慰霊や住民の安全の観点から好ましくない状況が生じることが想定される。

このことから、県内の慰霊塔(碑)管理状況等について平成 24 年度に実態調査を実施したところであり、そのフォローアップとして本調査を実施し、今後の基礎資料とする。

(2)調査の実施状況

平成 24 年度調査は、地方自治体等へのアンケートによるものであったのに対し、本調査は、直接管理者に下記③による調査を実施したものである。

① 調査対象 : 440 基 (調査中に追加される慰霊塔含む。)

※詳細については、報告書別添、「慰霊塔(碑)一覧表」による。

② 調査項目

平成 24 年度調査結果の変更の有無

(塔又は碑名、建立場所、建立年月日、建立者、合祀柱数、納骨の状況)

i) 管理者(団体)の変更の有無

ii) 管理者が判明した場合

ii-1) 管理状況

ii-2) 所有者または管理者の今後の意向

iii)管理者が不明の場合

iii-1) 慰霊塔(碑)の周りの清掃状況

iii-2) 慰霊祭の開催状況及び献花の状況

iii-3) 現状写真

iii-4) 倒壊の危険性の有無

iii-5) 自治会等の意見

③ 調査方法

i) 聞き取り調査

ii) 現地調査

※i)又はii)いずれかの方法で調査を実施

④ 調査期間 平成 30 年 8 月 29 日 ~ 平成 31 年 2 月 22 日

⑤ 委託先 (株)ゼンリンインターマップ

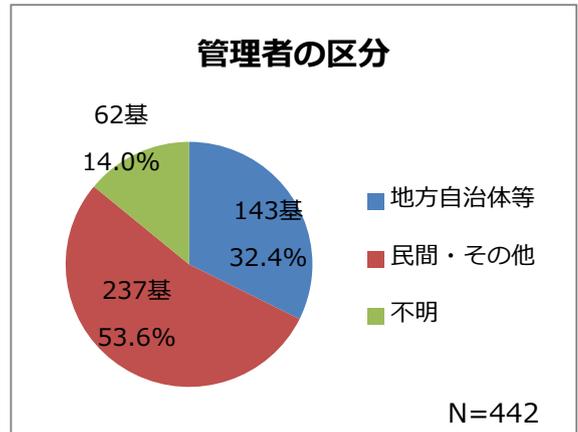
2.調査結果（概要）

(1)慰霊塔（碑）数

慰霊塔（碑）の総数は442基で、平成24年度の調査結果（440基）と比較すると2基の増加となっている。増加理由は平成24年調査以前に建立されていたが、未報告となっていたものである。

(2)管理者の区分

管理者の区分別でみると、自治会や同窓会等の「民間・その他」が237基、53.6%で最も多く、都道府県や市町村の「地方自治体等」が143基、32.4%となっている。また、「管理者が不明」の慰霊塔は62基、14.0%を占めており、前回調査の38基から増加している。



(3)慰霊塔の状態

地方自治体等が管理する慰霊塔を除く299基の状態について、74.9%（224基）は「良好」で25.1%（75基）が「不良」である。状態が不良の慰霊塔は平成24年度の11基から増加しており、老朽化が進行していることがわかる。

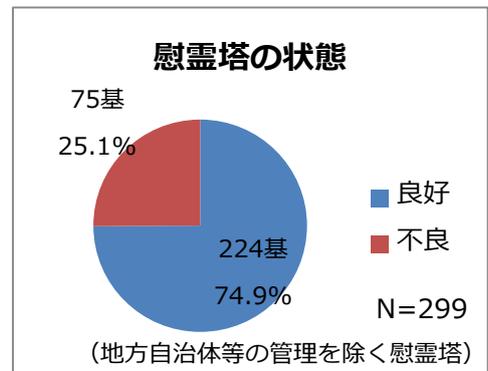
(不良の内訳)

- ① 本体のひびわれ・破損・・・45基
- ② 倒壊の危険性・・・3基
- ③ その他・・・27基

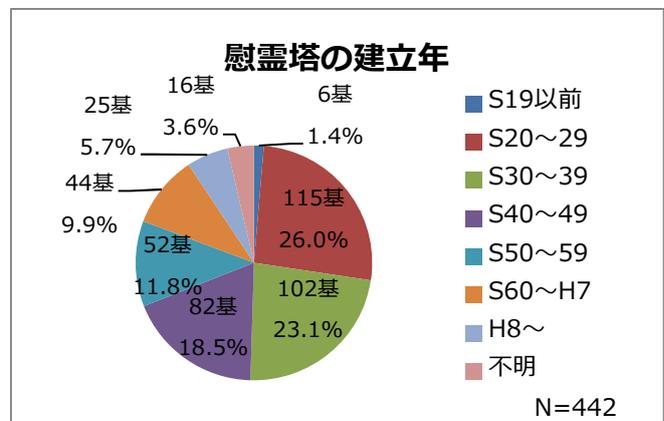
（周辺設備の破損、草が繁茂、ブロック塀のひび割れ、草に埋もれている）

- ④ 現物確認出来ず・・・4基

※重複回答有



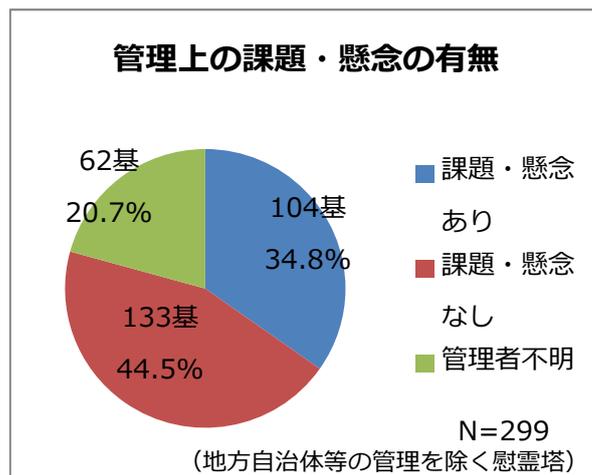
建立年ごとに慰霊塔を見ると、昭和20年代が26%、昭和30年代が23.1%で建立から50年以上経過しているものが半数以上を占める。またこれまで改修や移設された慰霊塔は68基となっている。



(4)管理上の課題・懸念の有無

地方自治体等が管理する慰霊塔を除く 299 基について、「民間・その他」の管理者が「管理上問題・課題がある、或いは、今後懸念がある」と回答した慰霊塔は 104 基である。

また、管理者が不明の 62 基と合わせると管理上の課題・懸念があると考えられるものは 166 基、55.5%となり、平成 24 年度調査の 61 基から増加している。



(課題の事例)

- ① 慰霊塔の管理に関すること
 - ・ 今後修繕が必要になった時の費用負担
 - ・ 高齢化により今後の管理が心配
 - ・ 管理者が曖昧な状態になっている
- ② 慰霊祭に関すること
 - ・ 高齢化が進んで参加者が減少
 - ・ 若い人に開催を継承出来るのか心配

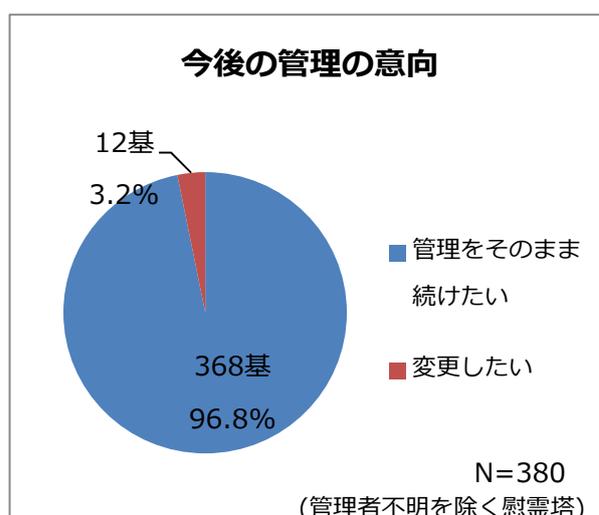
「管理者が曖昧な状態になっている」ことについて、建立当時の状況を把握している関係者が高齢化で減少していることから、建立者、土地所有者が異なっている慰霊塔では同様の課題が増加することが予想される。

戦後の混乱の中、「御霊を弔いたい」との思いから慰霊塔が次々建立された。このため、土地の所有者、建立者、管理者が同一ではないもの等、責任の所在が曖昧になっており、やむを得ず周辺地域の自治会等が清掃等を行っている状況がある。

本調査は、実態を把握することを目的としていることから、慰霊祭や清掃等を実施している団体等にご協力いただき、管理者として回答いただいた。

(5)今後の管理の意向

管理者不明の慰霊塔を除く 380 基について、管理者に今後の管理の意向を確認したところ、「管理をそのまま続けたい」が 96.8% (368 基) となっており、「管理の方法等を変更したい」は 12 基、3.2%である。

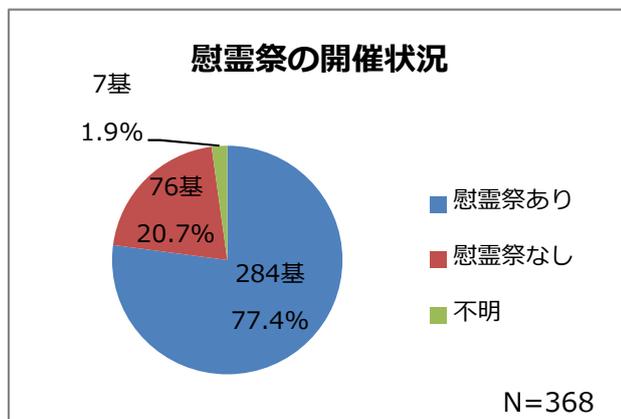
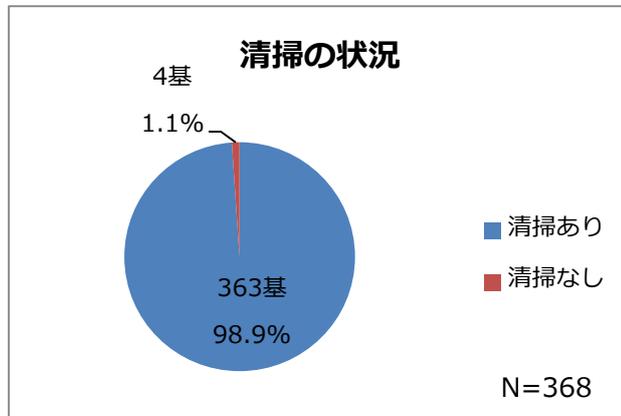


(変更希望の事例)

- ① 管理を委託したい・・・9 基
 - ② 現在の場所で譲渡したい
・・・2 基
 - ③ 場所を移してでも譲渡したい
・・・2 基
 - ④ その他・・・・・・3 基
(区で検討したい、関係者で管理して欲しい)
- ※重複回答有

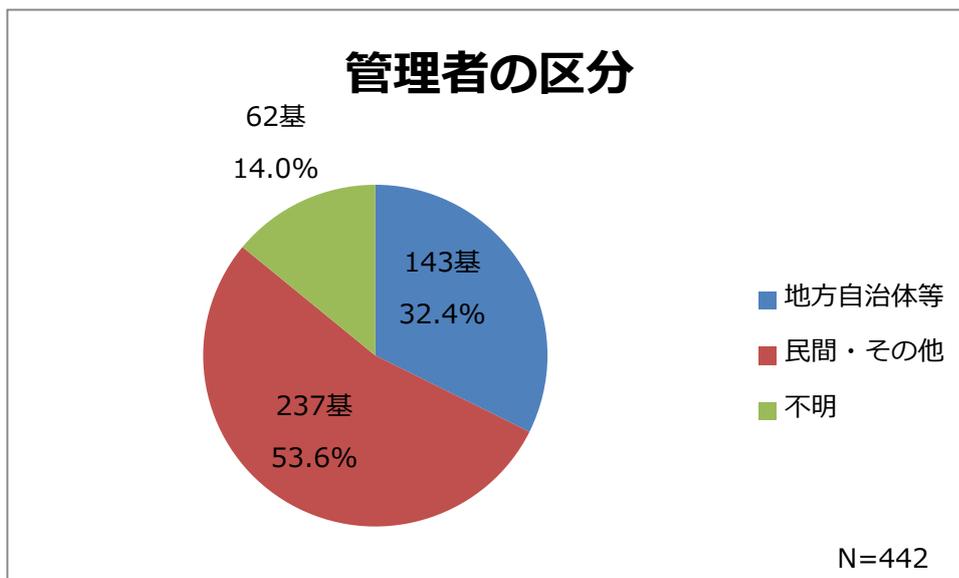
「管理をそのまま続けたい」としている 368 基の慰霊塔について、清掃や慰霊祭の現状をみると「清掃をしている」が 363 基、98.9%、「慰霊祭を開催している」が 284 基、77.4%となっており、慰霊塔が建立場所においてその意義が継承されていることがわかる。

このうち、各都道府県の慰霊塔については、ほぼ毎年、遺族が来沖し、慰霊祭を開催している。



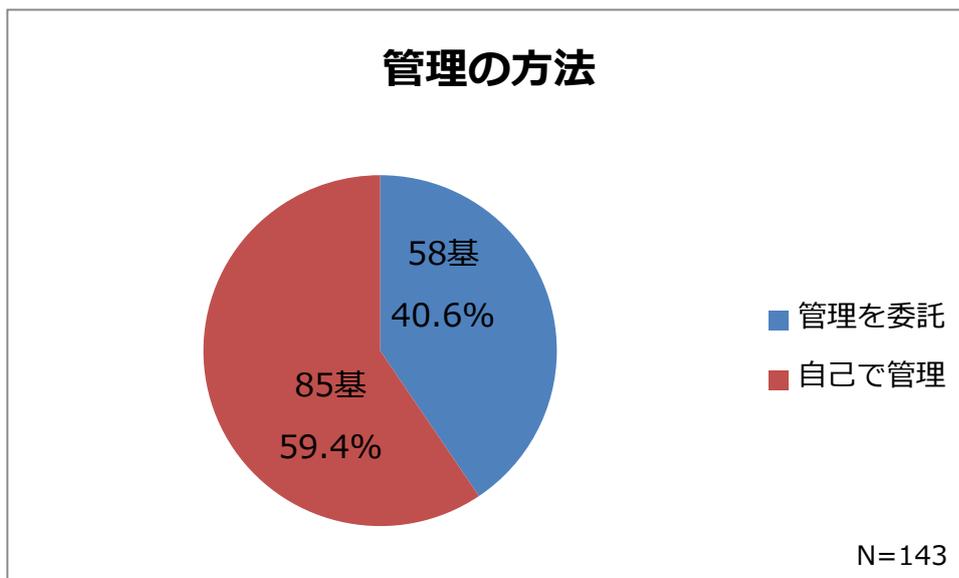
3.調査結果（詳細）

(1)管理者の区分について

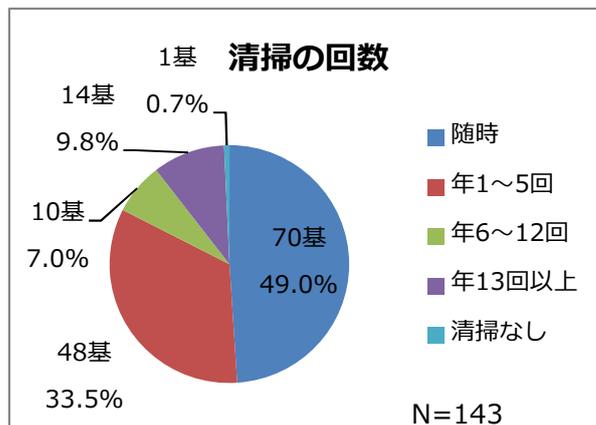
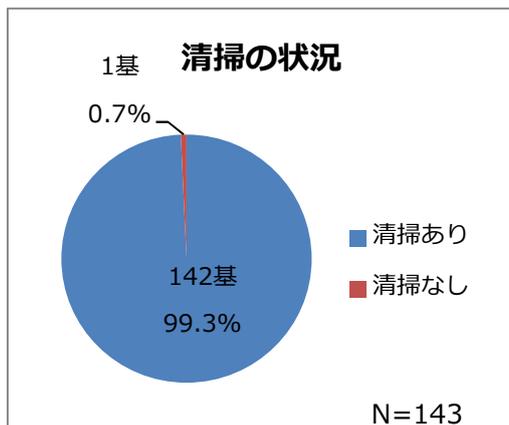


(2)地方自治体等管理の慰霊塔について

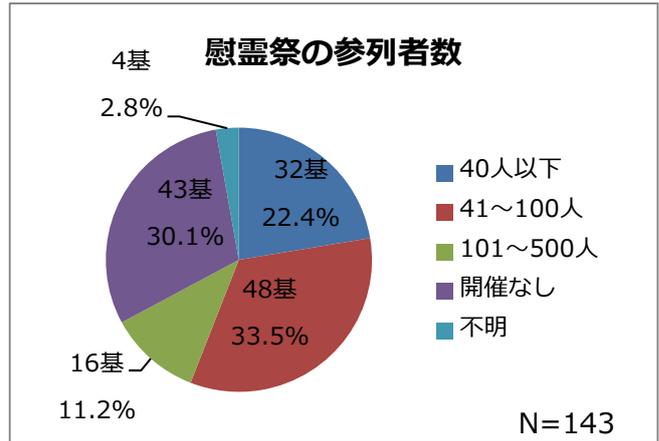
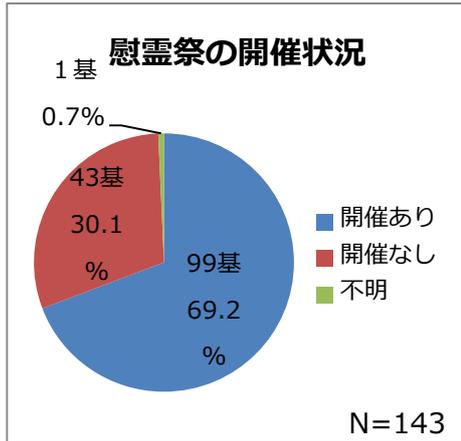
i) 管理方法



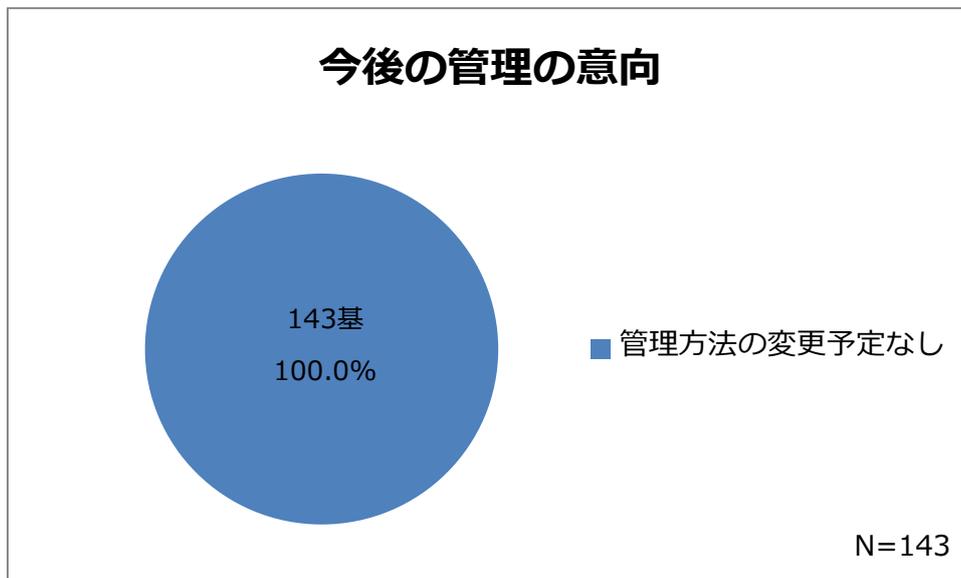
ii) 清掃の状況



iii) 慰霊祭の開催状況

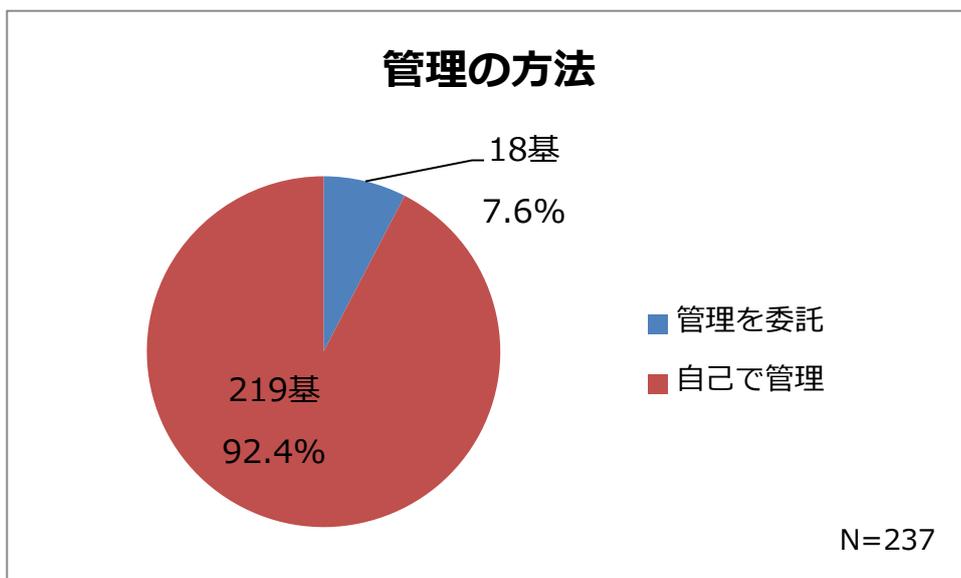


iv) 今後の管理の意向

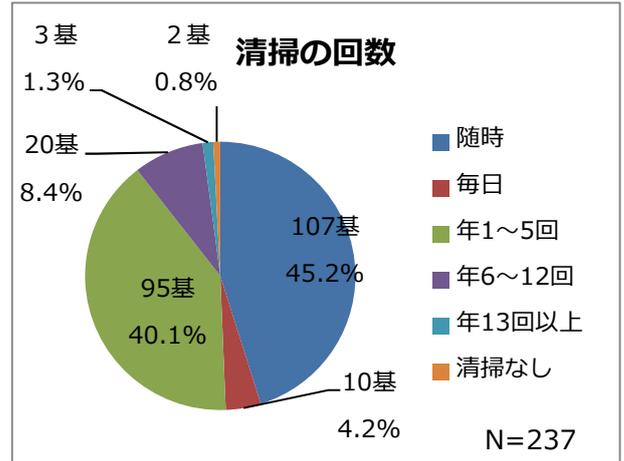
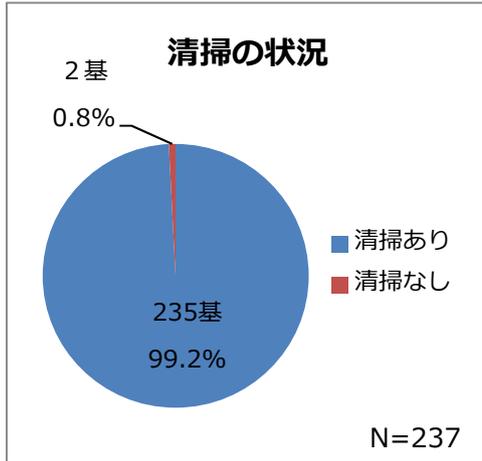


(3) 民間・その他の管理の慰霊塔について

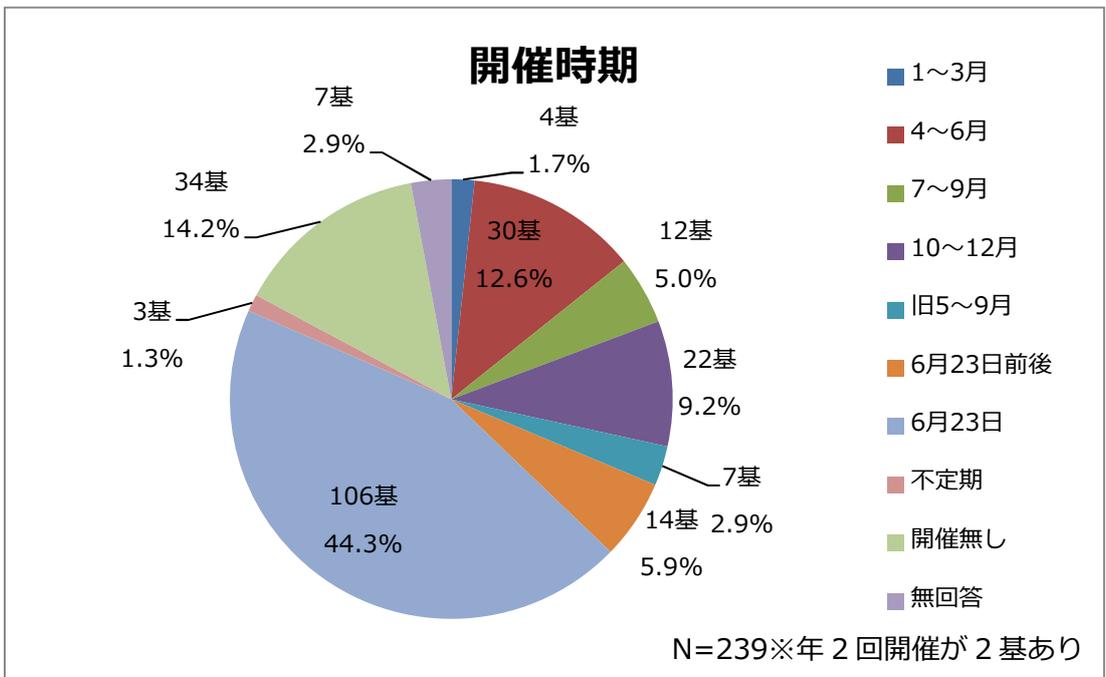
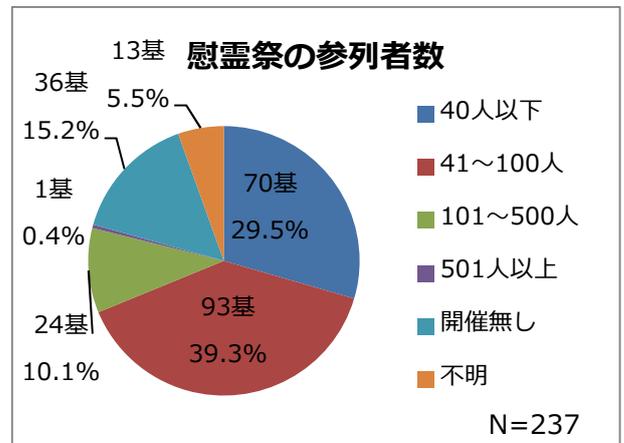
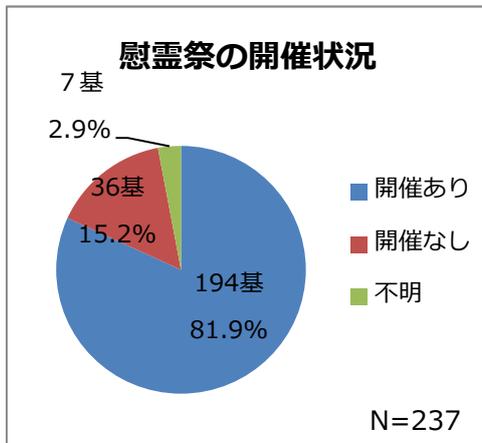
i) 管理方法



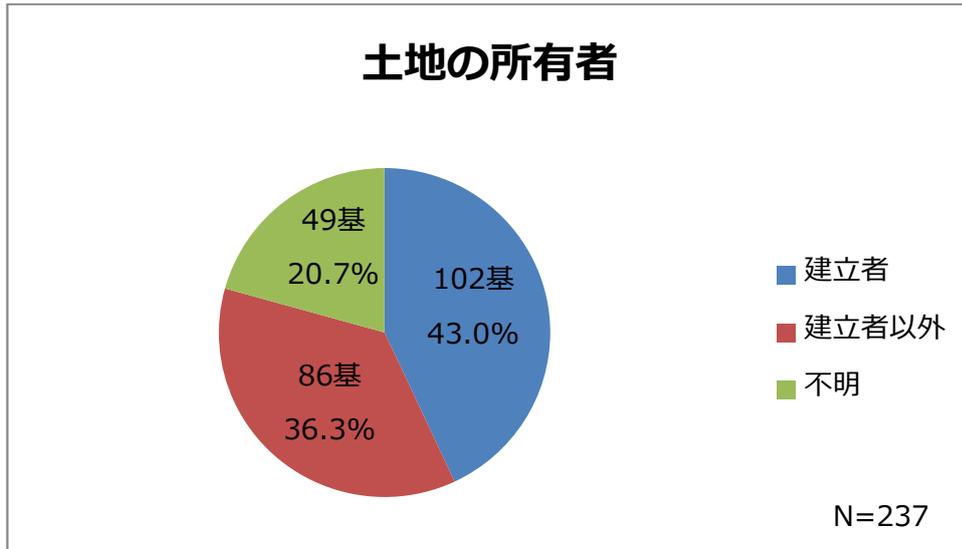
ii) 清掃の状況



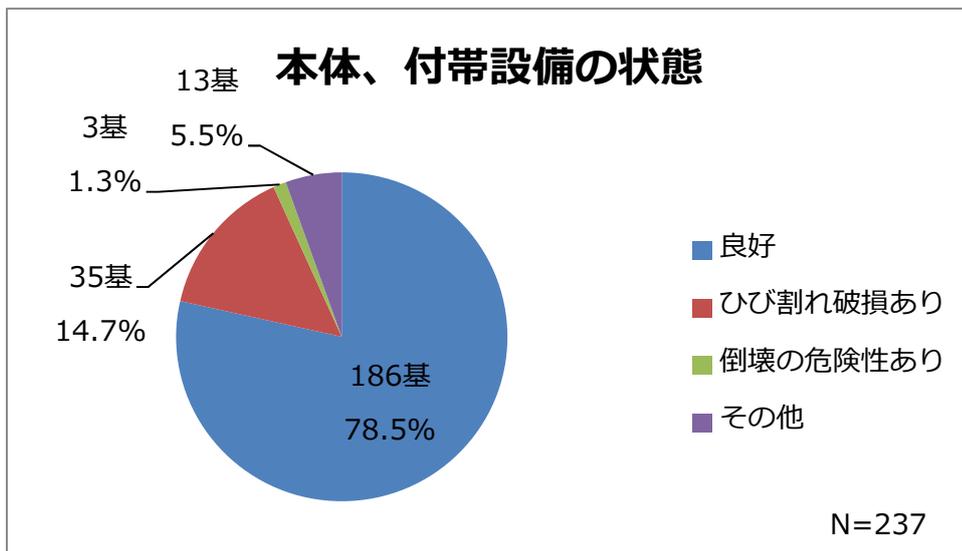
iii) 慰霊祭の開催状況



iv) 土地の所有者について



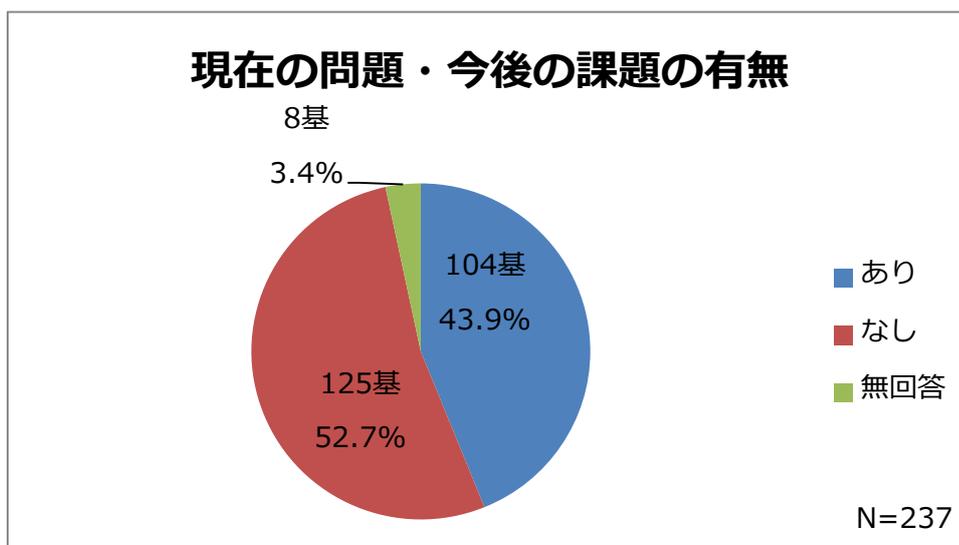
v) 本体、付帯設備の状態



<<回答「その他」の例>>

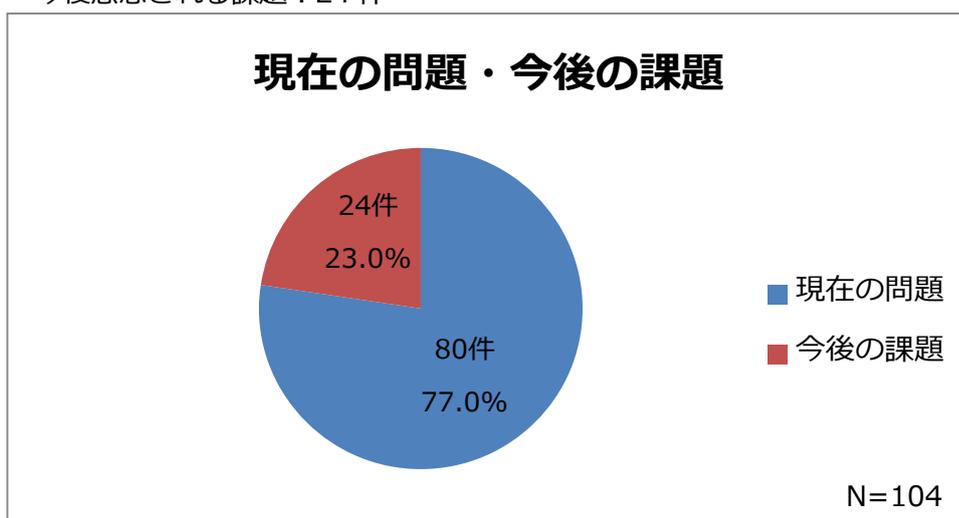
- ・戦没者の氏名板は設置しておくのが難しく近くの建物の室内に保管してある
- ・土台の石がはがれてきている
- ・台風で破損 周辺の木々の倒壊
- ・周辺の土台、階段破損
- ・慰霊碑の説明文の文字が薄れて読みづらくなっている
- ・鳥居が朽ちている。慰霊塔自体は良好
- ・台風の影響で修繕が必要な所がある
- ・周辺の手すりや階段に修繕が必要
- ・周辺の木が台風で倒れた
- ・完全に破損
- ・慰霊塔囲むブロック塀にひび割れ有
- ・塔の本体は良好だが、塔の隣の名前が刻まれた石碑が倒壊している
- ・慰霊塔のタイルがはがれおちている部分がある

vi) 現在の問題や今後の課題の有無

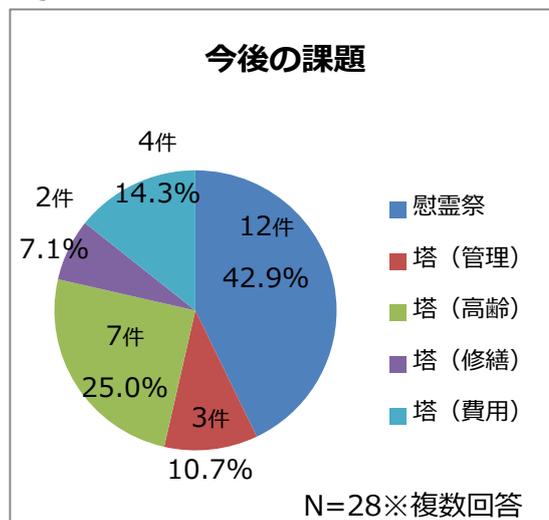
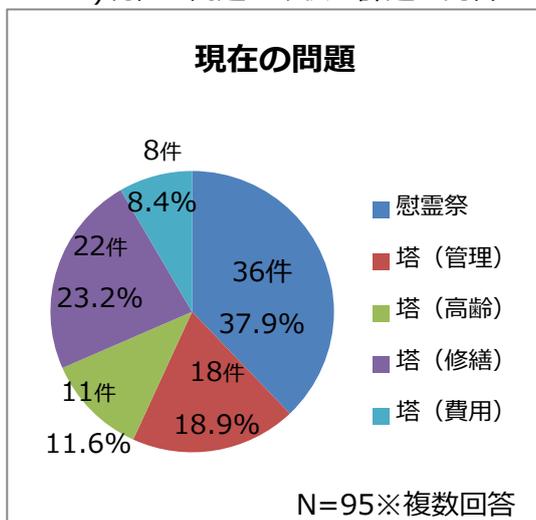


vi-1-1) 問題等があるとした 104 基の区分について

- ・現在の問題：80 件
- ・今後懸念される課題：24 件

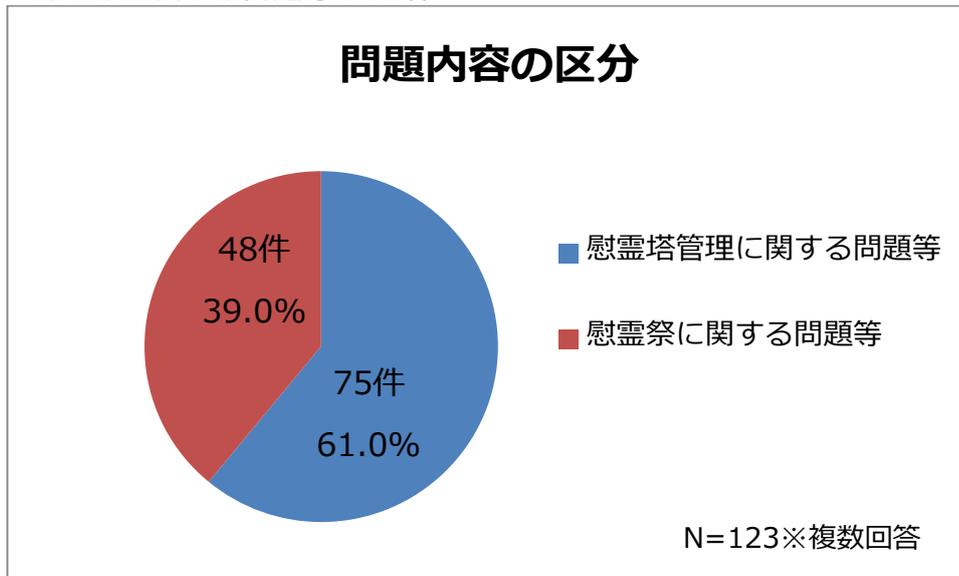


vi-1-1-1)現在の問題・今後の課題の内容について

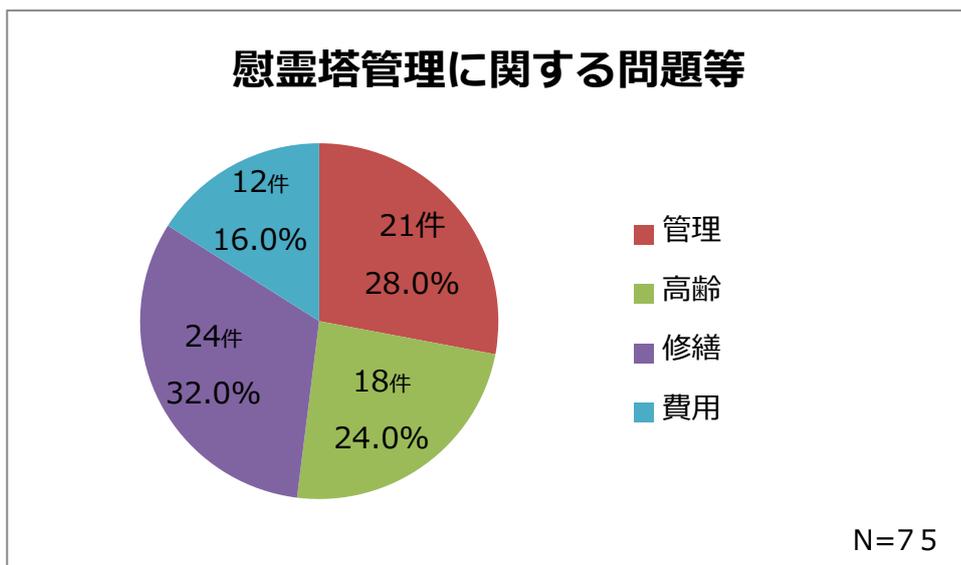


vi-1-2) 問題等があるとした 104 基の問題内容の区分について

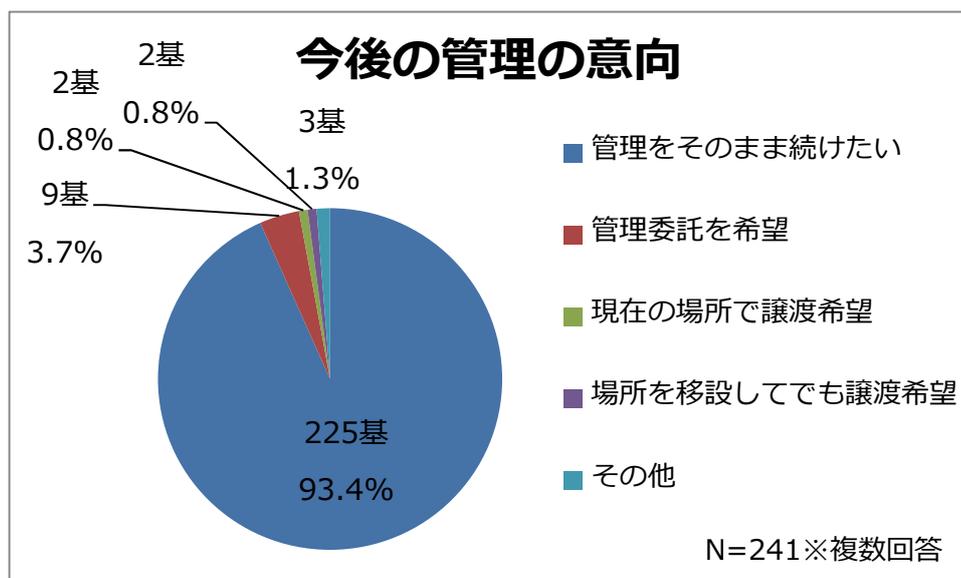
- ・慰霊塔管理に関する問題等：75 件
- ・慰霊祭に関する問題等：48 件



vi-1-2-1) 慰霊塔管理に関する問題等の区分について



vii) 慰霊塔管理の今後の意向

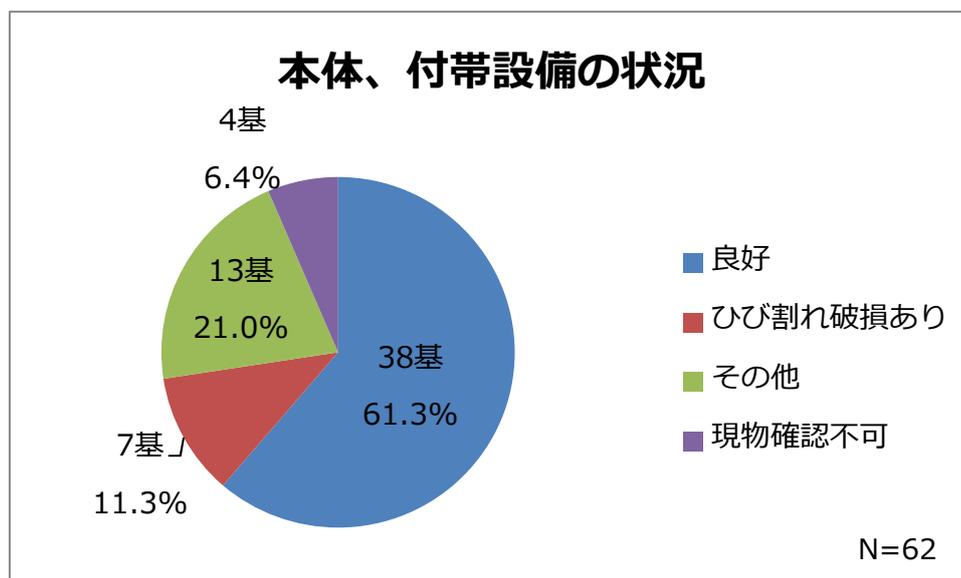


<<回答「その他」の例>>

- ・遺族会もしくは関係者で管理してほしい
- ・区で検討する
- ・町に慰霊塔があるから、字のものはなくして良いのではと遺族が話している
- ・町戦没者慰霊塔（碑）のある場所に新規に建立し、町が管理者となるのが望ましい

(4)管理者不明の慰霊塔について

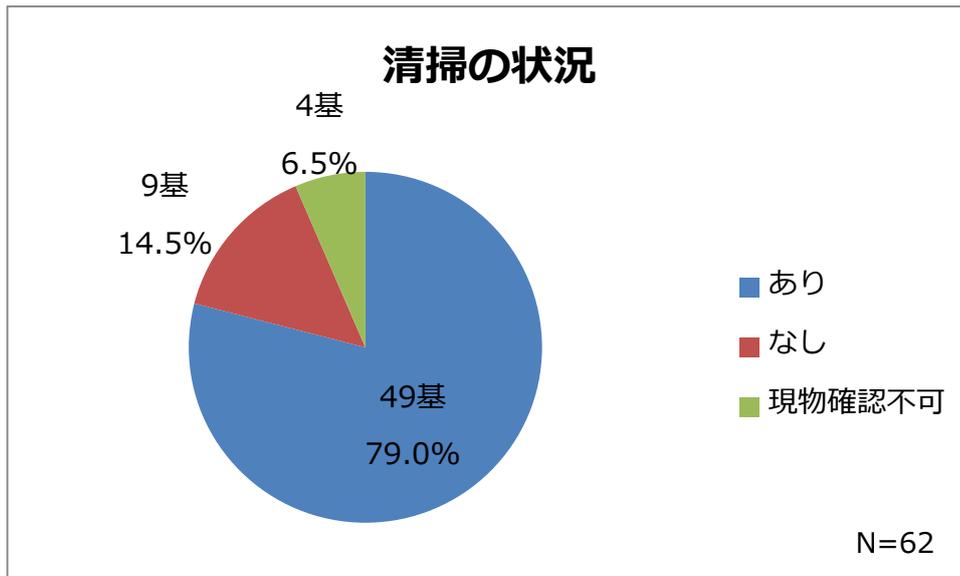
i) 本体、付帯設備の状況



<<回答「その他」の例>>

- ・繁茂
- ・周囲のブロック塀に破損箇所有り
- ・周囲の鎖破損。
- ・花瓶が破損。
- ・慰霊塔に続く道が草で覆われている

ii) 清掃の状況



iii) 周辺住民等の今後の意向について

<<周辺住民等の今後の意向例>>

- ・町戦没者慰霊塔（碑）のある場所に新規に建立し、町が管理者となるのが望ましいと思う
- ・移設撤去の意向無し
- ・現時点では清掃等は行っておらず、特に問題もないため、移設や撤去の必要性はないと考えている。道路拡張などの話が出た場合には問題になってくると思う

以上